

# 国民アイデンティティ, そして 他者との対話

—グローバル時代に要請される市民性とは—



参加無料  
申込み制  
(当日参加可)  
通訳あり

開催日時 平成 28 年 6 月 4 日 土 13 時開始  
(開場 12 時 45 分, 終了予定 17 時)

開催場所 広島大学大学院教育学研究科 第 1 会議室  
(広島市鏡山 1-1-1 教育学部管理棟 2F)

## 大会趣旨

社会科では, 国民アイデンティティの形成という役割をどのように受け止めるべきか。日韓で行われている国民アイデンティティに関するカリキュラム・教科書研究やアクション・リサーチから, この難しい問いに対する答えを考えていきます。

## プログラム

13:00- 開会の挨拶, 趣旨説明

第 1 部 理論編 13:10-15:10

「韓国社会科における  
国民アイデンティティと  
グローバリズムの関係」  
南 昊燁



「戦後日本で領土はどのよ  
うに教えられてきたか  
—教科書に描かれた領土像の変遷と  
それを活かした授業づくり—」  
草原 和博



▶ 指定討論: 福田 喜彦 (愛媛大学)

第 2 部 実践編 15:20-16:20

「相互文化学習空間の中で  
揺れ動く子どもの  
アイデンティティ」  
車 ボウン



「自己と他者の『真正な対話』  
に基づく日韓関係史教育」  
金 鍾成



▶ 指定討論: 桑原 敏典 (岡山大学)

-16:50 フロアとの質疑応答  
-17:00 まとめ, 閉会の挨拶

## 発表者紹介

### 1) 南 昊燁 (ナム・ホヨップ)

ソウル教育大学社会科教育科・教授。韓国の教育課程(日本でいう学習指導要領)や教科書の中におけるナショナリズムとグローバリズムの関係に関心を寄せる。韓国グローバル教育学会編集委員長。『グローバル時代の地域教育論』の著者。

### 2) 草原 和博 (くさはら・かずひろ)

広島大学社会認識教育学講座・教授。教師の信念や教科観, 学校の経営方針, 教室の雰囲気などの諸要因が, 教師の授業デザインにどのような影響を及ぼしているかに関心を寄せる。『社会科教育学研究法ハンドブック』の編著者。

### 3) 車 ボウン (チャ・ボウン)

ソウル教育大学グローバル教育研究所・研究員。小学校教師として, 国際理解教育を中心に教育実践を行っている。日本での生活経験を活かし日韓をつなぐ実践のあり方に関心を寄せる。「日中韓でつくる国際理解教育」プロジェクトの研究協力者。

### 4) 金 鍾成 (キム・ジョンソン)

広島大学社会認識教育学分野・博士課程後期生。韓国と日本という2つの国で小学校教師を勤めた経験を活かし, 「日韓相互理解」プロジェクトを実施している。CitizED conference, NCSS International Assembly 等の国際学会での発表多数。



お問い合わせ・申し込み

広島大学大学院 教育学研究科 大坂 遊  
d145967★hiroshima-u.ac.jp  
(★を@に変換して下さい)